

## ○沖縄大学の内部質保証の方針と手続

(2019年3月25日制定)

### 1. 内部質保証に関する大学の基本的な考え方

- (1) 沖縄大学は、その理念である沖縄大学憲章「地域共創・未来共創の大学へ」を実現するために、「内部質保証とは、PDCA サイクル等を適切に機能させることによって、質の向上を図り、教育、学習等が適切な水準にあることを大学自らの責任で説明し証明していく学内の恒常的・継続的プロセスのことである」という公益財団法人大学基準協会の考え方に則り、教育の質の保証及び向上に取り組む。
- (2) 内部質保証を実質化するために、沖縄大学の理念に基づく3つの方針（「学位授与方針」「教育課程の編成・実施方針」及び「学生の受け入れ方針」）を設定する。さらに沖縄大学の理念を具現するものとして本学の将来像を長期ビジョンに描く。これら3つの方針及び長期ビジョンに沿った活動計画を策定し、実施し、検証し、常に理念に立ち還りながら進展していく。

### 2. 全学内部質保証推進組織の権限と役割

- (1) 全学的な内部質保証を推進するために、適切なデータに基づくマネジメントを行う。その役割は中長期経営計画・自己点検運営委員会が担い、教学マネジメント委員会及び教学IR委員会と連携し推進する。
- (2) 中長期経営計画・自己点検運営委員会は、中長期計画の策定について審議するとともに、策定した計画の実施、評価、見直しを統括する。
- (3) 教学マネジメント委員会は、全学内部質保証推進組織において、3つの方針を起点とする教学マネジメントに関して役割を担う。
- (4) 教学IR委員会は、全学内部質保証推進組織において、教育の質保証を促進する一連のデータの収集、分析及び提供に関して役割を担う。

### 3. 全学内部質保証推進組織と学部・学科、研究科その他の組織との役割分担

- (1) 全学内部質保証推進組織は、自己点検・評価活動を3つの段階で推進する。
  - ①学科、研究科専攻、課、室等によるミクロの段階
  - ②学部、研究科、部、事務局等によるミドルの段階
  - ③執行部等によるマクロの段階
- (2) 自己点検・評価について審議をする全学教員会議、大学協議会、学部教授会及び研究科委員会等は、3つの段階において適宜その役割を果たす。

#### 4. 教育の企画・設計、運用、検証及び改善・向上のための指針

- (1) 3つの方針及び長期ビジョンに沿った活動計画において、教育の企画・設計、運用、検証及び改善・向上に取り組む一連のプロセスが沖縄大学の理念に向かって進展していることを確認するための評価方法を用意する。この検証プロセスは、外部評価委員会等学外へ開かれたものとする。さらに、全学的な内部質保証と機関別認証評価機関による外部質保証をつなぎ、沖縄大学の理念とその実践を社会に説明していく。
- (2) 地域共創・未来共創の大学であろうとする沖縄大学は、内部質保証のプロセスにおける教育研究活動、自己点検・評価結果、財務、その他の諸活動の状況等について、刊行物、インターネットその他の周知方法を通じて公表し、地域社会と共有していく。沖縄大学は、沖縄大学憲章に照らして本学に相応しい評価のあり方を追求し、新たな価値を社会に問うていく。